

第68回日本化学療法学会学術集会の開催について（第2報）

会員各位

5月25日、緊急事態宣言が全面解除されました。社会活動再開は感染状況を見極めながら段階的に実施する方針であり、第68回日本化学療法学会総会（学術集会）の9月12日（土）～14日（月）の神戸での開催も現時点で可能と再度理事会で確認いたしました。

新型コロナウイルス感染により多くの学会が中止され、4月7日の緊急事態宣言発表直後から本学会も延期を決定いたしました。9月開催も、各施設でのCOVID-19対策に従事する会員も多く、支障がでてはならないと、慎重に検討して参りましたが、患者数の減少もありこのたびの判断を行いました。学会運営は、3密対策はもちろんのことですが、収録による学会不参加者への対応などの準備も行います。

学会テーマは、「Antimicrobial stewardship」ですが、それに併せ「各施設で行ってきたCOVID-19感染対策とその治療経験」も、ホットなうちに振り返って皆でディスカッションしたいと考えています。またこれが秋冬の第2波に向けての対策に結びつけば、感染関連学会としての本学会の役割を果たすことになるかと信じています。

2020年6月5日

公益社団法人日本化学療法学会

理事長 清田 浩

第68回日本化学療法学会総会

会長 竹末 芳生